



かながわベスト介護セレクト20 事業所紹介

社会福祉法人 セイワ

川崎市特別養護老人ホーム すみよし



事業所概要

サービス種類：介護老人福祉施設

管理者：施設長 磯野 利男

所在地：川崎市中原区木月祇園町2-1

従業員数：49名（H30.10.4 現在）

人材育成のための取り組み

- 委員会を主導とした「排泄」「事故」「救急対応」「感染症」「看取り」「接遇マナー」等、内部研修を強化し、変則勤務の多い介護職員へ同内容の研修を2回ずつ開催することで出席率の向上と方向性の共有として「どの職員であつても同じ行動がとれる」につながりました。
- 外部研修では魅力ある研修を施設内に掲示し職員の向上心、自主性を促し積極的な参加支援を行いました。また法人本部の主催する階層別研修を通じ、職員の求められるスキルと役割、自己啓発を通じ自身の目標と次へのステップへの明確化を図っています。
- 日常的援助が評価につながった「ベスト介護セレクト20」の受賞、接遇マナー委員会による優良職員への表彰等モチベーションを高めることで意欲・技術の向上へつながりました。

処遇改善にむけた取り組み

- 昇給ベースの維持、資格取得昇給、育児休業・介護休業改善等、法人本部と連携のもと就業規則を見直し就業環境を整備しています。
- 非常勤職員に対しても正規登用制度の他、賃金増額、定期昇給、年2回の賞与、勤務日数・時間も臨機応変な対応を図り、働くスタイルに合わせた就業環境を整えています。
- ストレスチェックの実施、職員健康診断（腫瘍マーカー・2次検査負担等法定項目以上）、婦人科健診、特定業務従事者健診においては施設負担により提供。また、リゾート施設利用提携など福利厚生への充実も図っています。

サービスの質の向上のための取り組み

- 29年度は介護ロボット活用推進プロジェクトを立ち上げる準備として、超低床ベッド購入及びリショナーのモニタリング実施（H30購入）や福祉用具コーディネーターの取得支援等を行い介護負担軽減に向けて介護ロボットの活用に積極的に取り組みました。
- 身体拘束廃止推進モデル施設として年間を通じ3回の研修を実施しました。高齢者虐待についても基礎を繰り返し学ぶことで、意識統一を図りました。
- 苦情解決委員会に第三者委員の設置をはじめ、意見箱の有効活用と施設内掲示、ケアカンファレンスへの家族参加、入居者懇談会を年3回実施し日常ケアや入居者本人から直接の要望確認等、意見集約を行い信頼関係の構築に努めました。



選考会からひとこと

カンファレンスにご利用者・家族が参加する事で、施設主導のケアプランでは無い事が想像出来ます。また、介護ロボットの導入など、職員の負担軽減を図っているのがわかります。